

～最新の発掘調査成果～

## 近世・柳河藩の武家屋敷地を発掘！

柳川市・坂本町遺跡

令和4～6年度に九州歴史資料館が発掘調査を実施した坂本町遺跡は、柳川市坂本町に所在します。柳川市は江戸時代、立花家が治めた柳河藩が置かれた場所で、遺跡の南側には柳河城本丸址があります。寛政3年(1791)の「御家中絵図」により、調査地周辺はかつて武家屋敷地であったことが判っていました。

調査の結果、鎌倉時代と江戸時代の掘立柱建物・柵列・土坑・井戸・溝・ピットなどを確認しました。検出した14棟の建物の内1棟のみ礎石建物を確認しています。土坑は176基を検出し、一部の土坑からは輸入陶磁器（白磁碗・青磁皿）などと一緒瓦器碗が出土しています。また、井戸は木製の板材を繋ぎ合わせた枠を持つものと、瓦質で作られた筒状を3段縦方向に重ねて枠とした異なる種類の複数の井戸も確認しました。溝は86条を検出していますが、溝の壁面に横長の板材を置き、動かないように木製の杭で固定している事例も確認できました。調査地東側では南北方向に延びる2本の溝を検出しましたが、この溝の間には他の場所に比べて大きな遺構がないことから、この2本の溝は道路遺構の側溝と考えられます。

今回の調査では、江戸時代の遺構や遺物が数多く確認されました。これから出土遺物を整理し検討することで、武家屋敷地の時期ごとの内容や変遷が明らかになります。また、江戸時代の遺構・遺物の他に鎌倉時代の遺構や遺物も検出しました。鎌倉時代の柳河周辺は、蒲池氏が支配していましたが、蒲池氏に関わる遺跡についても詳細不明な点が多く、今回の調査によりこれまで知られていなかった柳河城周辺の歴史が明らかになることが期待されます。

なお、この遺跡の発掘調査報告書は令和7年度に遺構編、令和8年度に遺物編1、令和9年度に遺物編2と総括編を刊行する予定です。調査の成果をご期待下さい。



調査地全景



土留された溝

# 令和8年度上半期の展示・講座

## 福岡県域確定150年・昭和100周年記念事業

令和8年（2026）は、明治9年（1876）に福岡県が現在の県域で確定してから150年、大正15年（1926）の昭和改元から100周年の節目の年です。この日本と福岡県の節目の年に当たり、九州歴史資料館では講座と展示で当時の姿を紹介します。

### ○ 九歴講座 第1期「昭和100周年」※要事前申し込み

昭和100周年を記念して、昭和に関する3つのテーマの講座をお届けします。

- ・第1回「昭和の時代」4月11日（土）  
講師：相良悦子氏（求菩提資料館）
- ・第2回「昭和100年と吉田増蔵」5月9日（土）  
講師：井上信隆氏（みやこ町歴史民俗博物館）
- ・第3回「昭和の幕開けと福岡県」6月13日（土）  
講師：渡部邦昭（九州歴史資料館）

※時間はいずれも13:30～15:30（受付13:00）

詳細はホームページをご覧ください

### ○ 企画展「福岡県ができるまで」

福岡県内の藩が幕末維新の動乱を超えて廃藩置県を迎え、さらに県域に置かれていた複数の県が統合されて現在の福岡県が成立するまでの歴史を、文書資料で紹介します。

会期：令和8年6月10日（水）～8月2日（日）

会場：九州歴史資料館第1展示室（中世～近代コーナー）



昭和3年、昭和天皇の即位の大礼の儀式・大嘗祭（だいじょうさい）に、福岡県が米を献上した際の斎田の絵葉書

九歴名品探訪

Vol.20

## 南蛮切溜花入（なんばんきりだめはいれ）

本作品は近年、当館に寄贈された陶磁器です。細長い胴部に短い口縁がつき、30センチほどの高さになります。文様はほとんどありませんが、口縁下に太めの沈線、肩に波状文を入れています。これは、16～17世紀にベトナム（安南）から日本へもたらされた焼き締め陶器の一種です。このころ、日本とベトナムは朱印船交易で頻繁に往来があり、ベトナム中部の町「ホイアン」には日本人町が栄え、類似品が出土しています。

本来の目的は、貿易の際に水銀や漆などを運ぶための容器（コンテナ）でした。当時の日本では茶の湯文化が栄えていました。この陶磁器が、茶の湯で使う花を水屋に一時的に置いておく竹製の「切溜」に似ていました。日本の茶人はこれを「見立て」、花入としても転用しました。装飾を極力排した暗褐色の無骨な姿は、侘び数寄の精神を体現する茶道具として珍重されました。

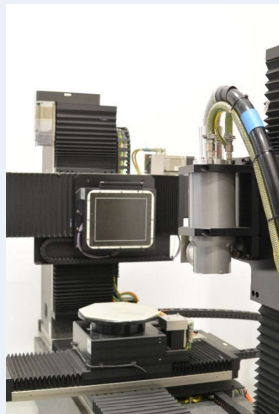


# 『九州歴史資料館のX線CTの歩み - X線CTがつなぐ地域連携 - 』

九州歴史資料館では、平成22年（2011）の移転開館にあわせて、県立博物館として全国で初めて文化財専用のX線CTを導入しました。以来、考古資料を中心に、美術工芸資料など多種多様な文化財を対象に、その構造や技法を解析する調査研究を行っています。

X線CTは、外観からは分からない文化財の内部構造や保存状態を非破壊で確認できるようになり、文化財を安全に守るための保存方針を検討するうえで欠かせない手法となっています。また、調査によって得られた三次元データは、研究だけでなく、展示や教育普及にも活用され、文化財の特徴や魅力を分かりやすく伝える手段として役立っています。

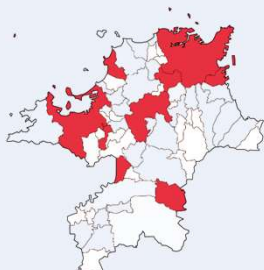
こうしたX線CTによる調査研究の手法は、県内市町村の文化財調査にも広く利用されています。導入から15年を迎えた令和7年（2025）では、県内市町村のおよそ7割が九歴のCTを活用するまでになりました。県立機関と市町村が調査環境を共有することで、文化財を科学的に調査研究する体制が福岡県内全体に広がり、文化財保護の質や意識の向上にもつながっています。さらに、九州や中国地方を中心に県外からの利用もあり、九歴は西日本における文化財調査の拠点としての役割も担ってきました。今後も、X線CTによる調査研究を行いながら、関係機関との連携を深め、地域の文化財を守り、次の世代へと伝えていきたいと考えています。



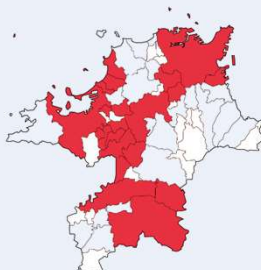
九州歴史資料館のX線CT



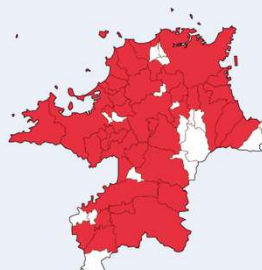
X線CTによる文化財の調査成果（船原古墳出土遺物）



9市町（8市1町）  
平成23年度（導入2年目）



22市町（14市8町）  
平成26年度（導入5年目）



42市町（26市16町）  
令和5年度（導入15年目）

九州歴史資料館	行事・事業予定
展示	常設展：4月1日(水)～9月27日(日)「歴史(とき)の宝箱」 企画展：6月10日(水)～8月2日(日)「福岡県ができるまで」 特集展示：3月10日(火)～7月12日(日)「きゅうおにとタイムトラベル 大昔のくらしと国づくり」 7月14日(火)～11月15日(月)「典籍入門(仮)」 8月4日(火)～9月27日(日)「四王寺山の経筒」 パネル展：3月17日(火)～6月28日(日)「船原古墳遺物埋納坑調査の最前線2025-2026」 6月30日(火)～9月23日(水・祝)「シルクロードの文化遺産 ③海の道」
古代体験	毎週日曜日、九歴ボランティアによる「古代体験」を実施(予約不要、有料・無料体験有)
ミュージアムトーク &バックヤードツアー	毎週日曜日、14時からバックヤードツアー(予約不要、無料) 15時からミュージアムトーク(予約不要、第1・3展示室にて開催の場合は有料)を実施
講座・イベント	九歴講座：毎月第2土曜日 定員160名 全席指定制(要事前申し込み) タベのギャラリートーク：毎月最終金曜日、閉館後に開催 イベント：5月3日(日・祝) こどもの日イベント 6月7日(日) あじさいまつり 7月28日(火) 親子歴史教室 7月30日(木) 中高生バス見学会① 8月2日(日) こども夏休みイベント(絵画教室・組紐講座・埴輪作り+藍たたく染め体験) 9月13日(日) 生葉染め体験+組紐講座
発掘調査	県内遺跡発掘調査・大宰府史跡発掘調査

求菩提資料館 〒828-0085 豊前市大字鳥井畑247 TEL・FAX 0979-88-3203	常設展：「求菩提修験道の世界」 企画展：4月18日(土)～5月31日(日) 豊前市・台湾北埔郷国際交流連携協定締結記念特別展「時代之眼～鄧南光写真展～」 7月18日(土)～8月30日(日) 夏の企画展「ガラスと生活」(仮) 市民歴史講座：6、7、9、10、11月に実施 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします
甘木歴史資料館 〒838-0068 朝倉市甘木216-2 TEL 0946-22-7515	企画展：6月2日(火)～7月26日(日) 九州歴史資料館三分館合同企画展「時代之眼～鄧南光写真展～」 自主展示：4月1日(水)～3月31日(水)「朝倉復興支援あさくら杉おきあがりこぼし展」 4月12日(日)～4月26日(日)「夕雅個展2」
柳川古文書館 〒832-0021 柳川市隅町71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559	通常展：4月9日(木)～8月23日(日)「日記の世界」 併設展：4月9日(木)～8月23日(日) 新収蔵史料 講座：古文書解読講座(初級編・中級編・応用編) 毎月1回(第4日曜日) 古文書入門講座 8月中旬から9月上旬の3日間を予定



〒838-0106 福岡県小郡市三沢5208-3  
 TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834 URL <https://kyureki.jp/>

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
 観覧料 一般210(150)円 大学生・高校生150(100)円  
 満65歳以上・中学生以下、障がいのある方(同伴介護者1名)無料  
 ※土曜日は高校生も無料  
 ※( )内は団体料金(20名以上)  
 休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)  
 年末年始(12月28日～1月4日)



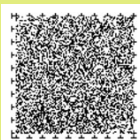
ホームページ



X



YouTube



- 公共交通機関  
《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から約700m  
《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分
- 自動車  
《九州自動車道》筑紫野I.C.から約15分  
《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号・県道88号線経由で約15分  
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

